## analysis 日本と地域の持続可能性実態

17番目のゴールはこれまでの16ゴールと少し毛 色が違います。16番目までは地球と地域が抱える 課題を示すものなのに対して、17番目はその解決 方法を示したものです。国連、国、地域、大学、 企業、NPO、市民、様々な立場のプレイヤーが協 働し、パートナーシップを組み、地球が、国が、 地球と地域が抱えるすべての課題にみんなで取 り組み、持続可能な未来を切り拓きましょう。



目パ 像を達成しよう - トナーシップ

不登校・いじめ

子どもの貧困

1 資用

教育格差

A股同

後継者不足

生活保護

政治参加 振り込め詐欺

児童虐待

男性の家事·育児 DV

未婚化 仕事と子育ての両立

障害者 孤独死

水不足

女性リーダー 行方不明

地域経済格差 外国人労働者

LGBT 認知症 精神疾患

超高齢社会 介護人材不足 健康寿命 社会保障費

食料自給率

農業

医師·看護師不足

生活習慣病

人口減少

発達障害 ワークライフバランス ワーキングプア 非正規雇用

Al・ロボット

インバウンド

プラスティックゴミ 起業 フードロス

再生可能エネルギー

空き家 原子力発電

単独世帯化

インフラ老朽化

ゲリラ豪雨・台風 買い物弱者

ヒートアイランド 震災

温室効果ガス

生物多様性

森林と林業

水産資源の枯渇 15 股の意かき

14 海の豊かさ

出典: 筧裕介「持続可能な地域のつくり方 みらいを育む『人と経済の生態系』のデザ (英治出版社, 2019) インロー

## 筧 裕介

1975年生まれ。一橋大学社会学部卒業。東 京工業大学大学院修了。東京大学大学院工 学系研究科修了(工学博士)。2008年ソー シャルデザインプロジェクト issue+design を設立。以降、社会課題解決のためのデザ イン領域の研究、実践に取り組む。日本計 画行政学会・学会奨励賞、グッドデザイン 賞、竹尾デザイン賞、カンヌライオンズ(仏)、 D&AD(英)、他受賞多数。著書に『ソーシャ ルデザイン実践ガイド』「人口減少×デザイン」 (単著)、「地域を変えるデザイン」 「震災のため にデザインは何が可能か』(共著・監修)など。

127